

普及項目	加工
漁業種類等	キビナゴ刺し網
対象魚類	キビナゴ
対象海域	天草海

## 牛深地区における漁協青壮年部とのきびなご缶詰増産への取り組み

天草広域本部水産課・宮崎孝弘

### 【背景・目的・目標（指標）】

天草市牛深地区は、本県で最もキビナゴの生産量が多く、牛深ハイヤ節の歌詞にも登場するほど古くからなじみのある魚であるが、キビナゴは鮮度落ちが早く県外までは出回っておらず知名度が低い。また、5～8月は多獲期のため単価が下がる傾向にある。そこで、キビナゴの認知度、単価向上のため天草漁協牛深総合支所青壮年部が平成30年度（2018年）から地元水産高校と連携し缶詰を開発し販売を開始した。しかし、例年約1か月で完売することから大量生産が望まれていた。そこで令和3年度（2021年）は、大量生産できる委託工場を探し、相談と試作を重ねた。令和4年度（2022年）はこの工場での大量生産と販売拡大を目的に普及を行った。

### 【普及の内容・特徴】

#### (1) 製造委託工場との缶詰製造に係る打ち合わせ

打合日：令和4年（2022年）5月19日

概要：天草漁協牛深総合支所青壮年部と委託工場を訪問し、缶詰製造のための原料の輸送、荷姿等詳細について打ち合わせ、7月中旬以降に製造することを決めた。

#### (2) 天草漁協牛深総合支所青壮年部との原料調達に係る打ち合わせ

打合日：令和4年（2022年）5月31日

概要：工場と打ち合わせたことを確認しながら、キビナゴをビニール袋に入れ、段ボールに詰めて急速冷凍し、7月中旬頃に必要量を保存することとした（図1）。

#### (3) 缶詰パッケージに係る打ち合わせ

打合日：令和4年（2022年）6月

概要：メール等により新たなパッケージの検討を重ね、くまモンのデザイン使用や高校がレシピを考案したことを記載したパッケージとすることを決めた（図3）。

#### (4) 缶詰製造立ち会い

立会日：令和4年（2022年）8月23日

概要：工場を訪問し、製造に立ち会い、工程の確認・記録を行った（図2）。

#### (5) 缶詰販売打ち合わせ

打合日：令和4年（2022年）9月22日

概要：製造した缶詰の販売について、まずは既存の缶詰の取り扱いのある道の駅等で販売し、売れ行きを見ながら順次他店へも拡大することを決めた（図4）。

### 【成果・活用】

缶詰は予定通り約1万缶納品された。パッケージも工場ですり付け済みであったことから省力化にもつながった。年度内に約2千缶が売れ予想以上の反響であった。

### 【達成度自己評価】

4：目標はほぼ達成できた（100%）



図1 冷凍したキビナゴ



図2 缶詰工場での製造



図3 新たなパッケージの缶詰



図4 販促資材と道の駅等での販売状況